

## 国際化学肥料ニュース（2021年2月）

### 肥料業界の2021年2月動態

- \* カナダの Nutrien 社は先月ベラルーシの BPC 社がインド側と締結した 2021 年塩化加里輸入基本契約に対して、不満を表明した。Nutrien 社の CEO は「この契約価格が他の肥料と同様に、強力な世界的な作物のファンダメンタルズによって支えられている現在の主要なオフショアポタッシュ市場の市場ベースの価格設定を決して反映していません。Nutrien は、2021 年のインドへの潜在的な販売についてこの価格レベルに従わないという Canpotex の立場を全面的に支持しています。」と声明を発表した。また、4 月までインドと中国に塩化加里を輸出しないことも表明した。
- \* ドイツの K+S 社もベラルーシの BPC 社とインドとの 2021 年塩化加里輸入基本契約を賛同しない声明を発表した。しばらくの間にインドに加里肥料を供給しないことも表明した。
- \* 2 月第 1 週の尿素国際市況は急上昇から落ち着いて、やや下落の状態である。アメリカニューオーリンズ向けの CFR 価格が 1 週間で約 20 ドル/トン値下げした。また、ブラジルでは輸入業者が尿素の高値を警戒して、CFR 価格が 390 ドル/トンで安定している。エジプトではメーカーが提示した高い価格に買い手からの反応がなく、契約に至っていない状況である。ただし、中国では一部の輸出業者は 2 月末にインドが尿素的の国際入札を行うという噂を受け、積極的に尿素をかき集めることで、尿素の価格高騰が継続している。
- \* 中国税関の最新データによれば、2020 年中国硫安輸出量が前年より 163 万トンを増え、866 万トンに達し、化学肥料輸出量の 1 位になった。また、尿素の価格高騰を受け、2021 年 2 月に入っても硫安の価格上昇が止まらず、2 月 10 日のカプロラクタム副産硫安の FOB 価格が 130~135 ドル/トン、ブリケット硫安も 150~155 ドル/トンまで上昇した。
- \* 2 月 10 日、ベラルーシの BPC 社が中国と 2021 年塩化加里輸入基本契約を締結したと発表した。CFR247 ドル/トンで、2020 年の基本契約より 27 ドル/トンの値上げで、BPC 社がインドとの塩化加里輸入基本契約と同一価格である。
- \* アメリカ最大の加里メーカー Intrepid Potash 社は 2 月 8 日からすべての塩化加里新規注文に対して、一律 50 ドル/トンの値上げを発表した。この新価格は 2020 年夏に比

べて 140 ドル／トン高くなっている。値上げの理由は、塩化加里の国際相場の上昇、在庫量の減少及び農産物の価格高騰による栽培面積の拡大でより多くの肥料が必要であることを指摘した。

＊ 主要国の塩化加里輸入輸出データ

国名	期間	輸入量(万トン)	輸出量(万トン)	増減率(%)
中国	2020年1～12月	874		-3.7
ブラジル	2020年1～12月	1124		7
インド	2021年1月	29.8		24
アメリカ	2020年1～11月	1060		1
カナダ	2020年1～11月		1950	9
ベラルーシ	2020年1～10月		967	8

＊ 2月第4週の窒素肥料相場が堅調さを維持している。Profercy World Nitrogen Index が引き続き上昇して、6年前の2014年10月以来の高い水準に達した。エジプト産大粒尿素が FOB395 ドル／トンに上がり、年初より 100 ドル／トンの値上げである。ブラジルでは尿素の CFR 価格がこの2週間では 10 ドル／トンも上がり、390 ドル／トン未満の見積が完全に消えた。アメリカの尿素 CFR もブラジルと同様の価格帯となっている。

UAN（尿素硝安液肥）はアメリカ中西部のメーカーは天然ガス価格の大幅な値上げにより生産を縮小するか値上げに転嫁するかで、値段が急速に上昇した。硫安については中国のカプロラクタム副産硫安が大幅に値上げられ、輸出の可能性が限られている。Yuzhnyy のアンモニア価格も昨年半ばの最低値より約 200 ドル／トン高くなっている。

＊ エジプト政府は尿素の国内供給を優先させるため、3月1日から尿素の輸出税を一時的に 600 エジプトポンド（約 38.4 ドル）／トンに引き上げることを発表した。1月から尿素国際価格の高騰で、エジプト尿素メーカーと商社が尿素を輸出に優先して、国内供給に不足する恐れがある。

大手各社の営業業績

＊ ノルウェーの Yara 社は 2020 年第 4 四半期の業績を公表した。新型コロナウイルスの影響で、第 4 四半期のアンモニア生産量が 8.9%減の 186.6 万トン、化学肥料生産量が 3.0%減の 527.1 万トン、化学肥料販売量が 8.3%増の 701.2 万トン、会社全体収入が 3.4%減の 29.25 億ドル、純利益が 23.6%増の 2.46 億ドル。2020 年の年間アンモニア生産量が 10.3%減の 760.6 万トン、化学肥料生産量が 4.6%減の 2104.8 万トン、化学

肥料販売量が 5.2%増の 2904.5 万トン、会社全体収入が 9.3%減の 117.28 億ドル、純利益が 17.1%増の 6.9 億ドルの減収増益である。

- \* ロシアの Acron 社が 2020 年の業績を公表した。アンモニア生産量が 5.7%増の 272.9 万トン、尿素生産量が 5.8%減の 118 万トン、硝安生産量が 24.6%増の 243 万トン、UAN（尿素硝安液肥）生産量が 36.6%減の 109.6 万トン。
- \* アメリカの CF Industries 社は 2020 年第 4 四半期と 2020 年通年の業績を公表した。第 4 四半期の業績が回復して、EBITDA が前年同期と同様の 3.34 億ドルであるが、純利益が 58.2%増の 8700 万ドル。一方、新型コロナウイルスの影響で、2020 年の売上高が 10.9%減の 41 億ドル、EBITDA が前年より 18.9%減の 13.16 億ドル、純利益が 35.7%減の 3.17 億ドルである。
- \* カナダの Nutrien 社は 2020 年第 4 四半期と 2020 年通年の業績を公表した。第 4 四半期のアンモニア販売量が 28%増の 73 万トン、尿素販売量が 23%増の 85.3 万トン、硝安、UAN と硫安販売量が 15%増の 126 万トン、EBITDA が 16%増の 7.68 億ドル、純利益が前年同期の 4800 万ドルの赤字から一転 3.16 億ドルの黒字に転換した。一方、新型コロナウイルスの影響で、2020 年通年ではアンモニア販売量が 6%減の 278 万トン、尿素販売量が 14%増の 348 万トン、硝安、UAN と硫安販売量が 11%増の 471 万トン、EBITDA が 9%減の 36.67 億ドル、純利益が 53.7%減の 4.59 億ドル。
- \* イスラエル ICL 社が 2020 年の業績を公表した。新型コロナウイルスの影響と国際加里価格の低下により、売上高が 4.3%減の 50 億 4300 万ドル、純利益が 97.3%減の 1100 万ドル。この 5 年間最悪の業績である。
- \* アメリカの Mosaic 社が 2020 年の業績を公表した。加里肥料販売量が 20.5%増の 940 万トン、りん安販売量が 3.7%増の 850 万トン、化成肥料販売量が 15.2%増の 1060 万トン、売上高が 3.5%減の 86 億 8170 万ドル、純利益が 2019 年の 10 億 9080 万ドルの赤字から 6 億 6560 万ドルの黒字に転換した。

## 肥料資源の探索と肥料プラント新規建設

### その他

- \* EU の Borealis 社は窒素肥料、工業用窒素製品とメラミン製品を含む窒素事業部門を売却することを決定した。Borealis 社はオランダとベルギーに肥料生産拠点をもち、

EUに60カ所の倉庫があり、西ヨーロッパ、中央ヨーロッパと南東ヨーロッパで年間約500万トンの製品を供給している。譲渡先は不明である。

\* 中国最大の加里メーカー、青海省の国営塩湖グループは業績が急に改善され、2020年の純利益20.5～22.5億人民元（3.17～3.48億ドル）になると予告した。塩湖グループは2017～2019年の3年間巨額の赤字を出して、2019年赤字額が458億人民元（70.8億ドル）で、2019年9月に破産し、企業再生を開始した。その後、傘下の赤字子会社を青海省政府系ファンドに売却して、政府の仲介で借入金337億人民元（52億ドル）を自社株式に転換したことで、2020年4月に企業再生を完了した。

\* アメリカ商務省はモロッコとロシアから輸入されるりん酸肥料が不当に助成されている最終決定を発表した。その助成金率はモロッコのOCP社が19.97%、ロシアのPhosAgro社とEuroChem社が9.19%と47.05%、その他の生産者／輸出者が17.2%と認定された。

アメリカ国際貿易委員会（ITC）もモロッコとロシアの輸入りん酸肥料がアメリカのりん酸肥料産業に重大な損害を与えているか否かを判断するために調査を実施して、3月中旬に最終決定を下す予定である。重大な損害を与えている決定を下した場合は、アンチダンピング関税が発動され、少なくとも5年間継続するという。

\* 1月29日、中国No.2の加里メーカー、蔵格ホールディングスの実質経営者肖永明氏が鉱産物違法採掘の罪で中国公安当局に逮捕された。蔵格ホールディングスは中国青海省のチャルハン塩湖（察爾汗塩湖）に724.35km<sup>2</sup>の採掘許可証を有し、塩化加里の年間生産能力100万トン、最大の民営加里メーカーである。2016年上海株式市場に上場し、肖永明氏が中国富豪ランキング64位に載せたことがある。